

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	入山辺地区地域づくり推進事業
事業主体 (連絡先)	入山辺地区の将来ビジョンを考える会 電話 0263-32-1389 (事務局:入山辺地区地域づくりセンター)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,346,373円 (うち支援金:780,000円)

事業内容

松本市内で最も高齢化が進む入山辺地区において、産学官連携のもと、地区が直面する課題の把握・研究を行い、住民自らが課題解決に向けて考え、行動することで地域を活性化させていく。



【学習会の様子】

事業効果

定期的に学習会を重ねて地域課題を把握することで、参加する住民の意識が高まってきている。
また、植樹や遊休農地を活用したもち米栽培等の継続、集落案内看板製作に取り組んだ結果、住民同士が交流する機会が増え、地域のつながりを強めることができた。そして、入山辺を舞台とした若者の交流イベントを実施したことで、地区外の若者に入山辺をPRすることができ、関心を得られた。また、今後交流を深めていくうえでの、ネットワーク(人脈)づくりにもなった。

【目標・ねらい】

- 住民自らが地域課題を直視する。
- 地域のつながりを強める。
- 地区内外の若者と交流を深め、地域を活性化していく。

※自己評価【A】

【理由】
様々な活動を実施したことで、地域づくり活動が地区全体に広がりをみせつつある。

今後の取り組み

平成26年度も継続して学習会を行ない、地域課題を把握するとともに具体的な活動に取り組んでいく。主な事業として各集落の案内看板製作、一般参加型イベント(田んぼのわプロジェクト、入コン)開催等を行う。特に地域子ども達と世代を越えた交流を図ることで、地域全体の結束力を高めていきたい。(次年度は小学校と連携して農作業体験を実施予定。)
今後も「住んでみたい、訪れてみたい入山辺」を念頭に、魅力あふれる地域づくりを着実に進め、入山辺地区の活性化を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある